

No.131
2022・11/1

へきなん 議会だより

令和4年9月市議会定例会

- 審議された議案等……………2～3
- 市政を問う・一般質問… 4～11
- 議会の窓…………… 12

碧南市議会HPへの
2次元コード



テーマ：「碧南の未来を担う子どもたち」
「ヤドカリとイソギンチャクの学習」～碧南海浜水族館のヤドカリ観察～（鷺塚小学校）

9月 市議会定例会 議案

令和3年度決算認定など

議案等18件と、請願1件、陳情3件を審議

令和4年9月市議会定例会は、9月8日から9月30日まで、23日間の会期で開会しました。会期中に同意議案1件、条例議案2件、補正予算議案4件、その他議案1件、認定議案8件、報告案件2件の合計18件および請願1件を審議しました。また、議案以外として陳情3件を部会で審査しました。議案等は、次のとおりです。

同意

●碧南市教育委員会委員の選任について

現委員の高橋世利子氏が令和4年9月30日をもって任期満了となり、その後任として大村幸氏を選任することに同意した。

条例

●碧南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

- (1)非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和
- (2)非常勤職員の子が1歳以降の育児休業の取得の柔軟化
- (3)規定の整理

●碧南市職員の修学部分休業に関する条例

職員の人材育成及び修学への意欲の向上に資することを目的として、地方公務員法第26条の2に規定する修学部分休業制度を職員（市民病院に勤務する医師に限る。）について導入するため、新たに条例を制定する。

- (1)修学部分休業
- (2)修学部分休業取得中の給与
- (3)修学部分休業の承認の取消事由

補正予算

●令和4年度碧南市一般会計補正予算（第4号）

●令和4年度碧南市一般会計補正予算（第5号）

●令和4年度碧南市介護保険特別会計補正予算（第1号）

●令和4年度碧南市水道事業会計補正予算（第1号）

その他

●損害賠償に係る和解契約の締結及び額の確定について

認定

●令和3年度碧南市一般会計歳入歳出決算の認定について

●令和3年度碧南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

●令和3年度碧南市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●令和3年度碧南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

●令和3年度碧南市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について

●令和3年度碧南市水道事業会計決算の認定について

●令和3年度碧南市下水道事業会計決算の認定について

●令和3年度碧南市病院事業会計決算の認定について

報告

●令和3年度碧南市健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

●損害賠償に係る専決処分について

請願

●防衛省によるミャンマー国軍士官・士官候補生の受け入れ中止を求める意見書の提出を求める請願（不採択）

陳情

●定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情（不採択）

●国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情（不採択）

●私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために碧南市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情（不採択）

9月市議会定例会に上程された議案等の審議結果

議案等の内容		採決結果	想政会							志政会			市民	共産党	公明党	みらい	眞性						
			山中	新美	小林	藤浦	生田充	鈴木良	赤宜田	生田綱	沓名	磯貝	岩月	石川	杉浦	神谷	山口	岡本	加藤	大竹	鈴木み	小池	林田
同意	碧南市教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	碧南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	碧南市職員の修学部分休業に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	令和4年度碧南市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度碧南市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度碧南市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度碧南市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	損害賠償に係る和解契約の締結及び額の確定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	令和3年度碧南市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	令和3年度碧南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	令和3年度碧南市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度碧南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	令和3年度碧南市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	令和3年度碧南市水道事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	令和3年度碧南市下水道事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
請願	令和3年度碧南市病院事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	防衛省によるミャンマー国軍士官・士官候補生の受け入れ中止を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×

○…賛成、×…反対、△…退席、―…欠席、※議長のため、採決に加わらず

市政を問う

9月市議会定例会一般質問

9月定例会では、9月8日、9日、12日の3日間、15人の議員が一般質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

詳細は、碧南市議会ホームページ内の「インターネット中継」「市議会会議録」又は、市民図書館に配布する「9月市議会定例会会議録」(11月下旬発行予定)をご覧ください。

また、右記の2次元コードから議会中継のページにアクセスできます。



▲碧南市議会中継への2次元コード

問 アジア競技大会組織委員会との連携については、令和5年と6年から、2名

答 現在の状況は、現在ビーチバレーボールの競技種目会場として内定している。

問 現在の状況は、

答 現在の状況は、

アジア競技大会について

問 スポーツ施設整備は、

答 スポーツ施設整備を第一目的と考える。

問 創設の目的は、

答 12月議会には条例の上程を予定している。

問 設立時期は、

答 4期目の市長マニフェストでもあり、唯一手つかずの案件であるため、早期に考えている。

問 現在の状況は、

答 今後の、アジア競技大会組織委員会と協議をしていき決定されることになる。その他詳細についても今後組織委員会で検討されると考えている。



志政会
生田 綱夫

スポーツ振興基金の創設について

の職員を派遣する予定。派遣により連携を図って行く。
問 担当課等の設置については、令和6年度より担当課等の設置を検討していきたい。
問 ビーチコートについて、観客席や天候による対策等の現状は。



▲ビーチバレーボールの大会風景



想政会
藤浦 伸介

選挙における投票率の向上について

問 期日前投票と当日投票の投票率の推移は。

答 直近3回の選挙で比較すると、期日前投票は、国と市の選挙において微増、県の選挙においてはほぼ横ばい。当日の投票率は、一部選挙においては下がっている。

問 国政選挙における碧海5市の投票率の状況は。

答 衆議院議員選挙と参議院議員選挙のそれぞれ直近3回と比較すると、6回のうち5回は本市が最下位。

問 現状の投票率をどのように受け止めているか。

答 国及び県の投票率と比べると、本市は平均より高いため、特段悪いという認識はない。

問 過去に市選管等に対して投票済証の廃止についての要望があったが、

その結果は。

答 多くの方が交付を受けているため、引き続き交付を行っている。

問 投票済証の交付割合は。

答 選挙の種類によるが、平均3割程度。

問 投票済証のデザインの変更や、選挙割のサービスを行っている事業所を取りまとめているのは。

答 費用対効果や他の自治体の状況を見ながら調査研究している。選挙割については、問い合わせがあれば運営している一般社団法人をお知らせする。



▲他自治体の様々なデザインの投票済証



市民クラブ
杉浦 文俊

碧南市の公共交通について

問 くるくるバス更新による購入が困難となったが、路線に影響を及ぼす可能性はあるのか。

答 当面の間は、オレンジ車及び予備車を活用し、運行に支障がないようにする。

問 交通計画を作成する中、実施するアンケートの対象者は。

答 16歳以上の市民2千人を対象とする市民アンケートに加え、バス乗降調査、バス利用者アンケート調査を行う。

問 無作為で選ぶ2千名も大切だが、免許返納者や高校生等、交通弱者から多くの意見を求めるべきではないか。

答 市民の意識調査となるため、公共交通の利用の有無、交通弱者を問わず、年齢や地域といったバランスに配慮し実施をする。

子育て環境支援について

問 保育園等、保護者が希望し

た園に入園出来なかった件数及び、そうなる原因は。

答 令和3年度では、52名。理由としては、就労時間の長さが保育の必要度を図る重要な要因である。

問 就労時間の長さが要因であれば、同じ世帯が何度も対象となる可能性が高くなる。せめて第3子以降はポイントを高くするなど、同じ世帯が対象とならない様に入園基準の見直しを行うべきではないか。

答 第3子以降に特化した項目はないが、他で配慮をしているので、当面の変更予定はない。



▲碧南公共交通のひとつの「くるくるバス」



公明党
加藤 厚雄

不登校特例校の設置推進

問 不登校及び不登校傾向の児童生徒数の推移について。

答 全児童生徒に対して、5年前は小学校0・3%、中学校2・8%であり、現在は小学校1・1%、中学校2・4%である。

この5年間で、小学校は約3倍になり、中学校は減少傾向にある。全国的には不登校傾向の児童生徒は増加傾向を示している。

問 不登校児童生徒への学習機会確保と支援のあり方は。

答 生活アンケートと個別相談を実施し、不登校を出さない教育支援に取り組んでいる。心の教室、スクールカウンセラー、臨床心理相談員等を配置し、相談活動の充実を図っている。学校以外の場所では、少人数指導の「ほっぷ倶楽部」と個人指導の「フリースクールへきなん」を設置している。

問 今の学校に行きたくない児童生徒が学校を選択できるか。

答 保護者や学校と教育委員会が話し合って、登校できる環境を作るために特例として、選択ではなく、その子に適する学校を教育委員会が指定できる。

問 不登校特例校の設置は。

答 教育効果への期待はあるが、設置することで不登校が増加する懸念もある。今は不登校対策を粘り強く進めていくことが大切である。新たな1人を出さないうための不登校児童生徒の支援に力を入れる。現時点では不登校特例校の設置を注視する。



▲適応指導教室 ほっぷ倶楽部



日本共産党
碧南市議員団
岡本 守正

くるくるバスの拡充と、碧南市地域公共交通活性化協議会

問 第2回碧南市地域公共交通活性化協議会の協議事項、報告事項の内容は。

答 市民各種ニーズ把握のため市民2千人に「市民アンケート調査」を行う。

問 くるくるバスの拡充で、1時間に1回バスがバス停に来るように充実すべきでは。

答 公共交通全般に対する市民の意識調査を行い、その結果を分析する中で公共交通の課題を整理し協議会で考えていきたい。

小中学校体育館の空調設置

問 小中学校体育館は、空調設備がない。暑さ寒さは異常な状態である。刈谷市、みよし市は体育館の空調設置を進めている。碧南市も空調設置を。

答 体育館の空調設備は、現時点では設置はしない。

後期高齢者福祉医療費について

問 体育館は、大きな災害時の避難所になる。空調設置を。

答 現時点では空調設備は大変難しい。

問 後期高齢者福祉医療費対象者75歳以上の一人暮らしの方は何名で、マル福受給者数は。

答 75歳以上で非課税の方は、1447人、マル福受給者数は令和3年度が116人である。

問 親族の同意書提出を求めている自治体もある。碧南市もそのようにすべきでは。

答 同意書については、どのような方法が良いか検討する。



▲中学校体育館



想政会
小林 晃三

碧南市の水害対策について

問 防災・減災の認識は。

答 防災とは、市民の生命、身体及び財産を災害から保護する基本的な施策である。しかし、災害の発生を完全には防げないため、災害の被害を最小化し被害の迅速な回復を図ることを減災の基本理念としている。

問 7月27日の被害は。

答 床上浸水が2棟、床下浸水が4棟、車庫浸水が2棟、道路冠水が19か所、落雷による停電が1640戸。人的被害はなかったが、蜷川排水機場と雨池ポンプ場のポンプが一時的に停止した。

問 高齢者等避難とは。

答 警戒レベル3である高齢者等避難指示は高齢者や障害者など避難に時間のかかる人の避難開始をお知らせするものである。

碧南市の防犯カメラ・監視カメラについて

問 防犯カメラ設置費補助事業の拡大は。

答 現在、設置数を増やすための新たな施策を検討している。民間マンションや集合住宅、アパートなどの駐車場等への設置補助を進めていきたいと考えている。

問 今後の対応は。

答 補助制度の周知については広報やホームページ及び関係者等へのチラシ配布を考えている。監視カメラ作動中等の看板設置については、補助要件なので、指導を徹底する。



▲碧南中央駅駐輪場の防犯カメラ



想政会
山中 謙治

一連の新聞報道に関する市長の考えについて

問 7月23日以降の新聞報道に対する市長の考えは。

答 市長としての公務とそれ以外の活動はきちんと区別しており、旧統一教会の関連団体との関係において公務として対応したものは一切無い。また、報道にあった、旧統一教会関連イベントに関連して知事に祝電を依頼したという事実は無い。

旧統一教会の関連団体のイベントで実行委員長を務めたことは、当時の状況から問題ないと判断し、個人の政治活動の一つとして引き受けたものであり、市政に何ら影響を与えるものではない。

日頃から、公平公正な立場で公務を行うことに努めており、「法律等に反していないこと」「人倫道徳に反していないこと」「世の中全体に対してより良い方向を目指すこと」といったこ

とを行動の基準としている。個人の政治活動を行う上でも同様であり、特定の個人、団体等とその思想信条等により特別扱いすることは無い。

今後の対応については、公務においては、今までどおり対応する。政治活動においては、憲法に規定する法の下での平等という原則を踏まえ、国等により法に基づく制限措置が取られれば当然関係は持たないが、現時点では、国等の調査等の動向を見守る。



▲碧南市役所



志政会
岩月 ひろし

高齢者福祉施策について

問 令和4年度の敬老金対象者数および見込み金額は。

答 令和4年9月1日時点で、満90歳274人、満99歳22人、満100歳以上38人の計334人、1人当たり1万円で計334万円を見込んだ。

問 支給対象年齢の引き下げを。

答 高齢者の健康寿命の延伸や、支援を必要とする高齢者への福祉サービスの財源をシフトしていくことが必要と考え、敬老金事業の見直しを行ったため、引き下げは考えていない。

問 物価高騰に不安を抱える高齢者を対象として地域振興券の支給を。

答 生活に不安を抱える高齢者への支援も課題の1つと認識している。今後の国の臨時交付金の動きや他市の動向に注視し、高齢者の支援策を検討するとき、地域振興券の配布も含め、検討する。

農業・漁業従事者への見舞金制度について

問 明治用水頭首工漏水事故で見舞金を支給した市はあるか。

答 岡崎市、豊田市、刈谷市、安城市の4市である。

問 本市においても支給を。

答 過去の農産物被害の状況などとのバランスを考えて、見舞金の支給を行わないことにした。

問 見舞金制度の創設を。

答 近隣自治体に事例ができたので、今後の検討課題とした。



▲水不足で田植えができず草が生えた田んぼ



日本共産党
碧南市議員団
山口 春美

統一協会と市長の関係

問 反社会的カルト集団統一協会関係団体のイベントの実行委員長、共同議長などを行い、あいさつ講演をしてきた市長。31歳で集団結婚に参加したときと同じ認識か。緊密な関係か。

答 個人の政治活動の中では、様々な団体と付き合いがある。

問 統一協会を容認し執着するなら7万人市民の命と暮らしを守る市長の立場と相いれない。辞すべきでは。

答 市民に不安を与えないよう関係団体の役職は辞任した。

安倍元総理の国葬について

問 9月27日の国葬は憲法違反。安倍元総理が統一協会と深く関わり、桜を見る会、加計、森友問題で政治の私物化、立憲主義の破壊を進めた。国民に弔意を押し付けるべきではない。

答 国から特に要請はない。

気候危機打開のために

問 国の2030年CO₂削減46%。2050年100%削減に合わせ、西尾市、安城市、豊田市、愛知県などが削減目標を見直している。ゼロカーボンシティは10自治体のうち碧南市と高浜市以外の8自治体が実施している。碧南市15・7%と80%の削減目標は見直すべき。実効性ある年目標と省エネ・再エネの促進へ減税補助拡充を。脱炭素先行自治体への挑戦を。

答 今後国に合わせ変更する。10月の審議会に諮る。安城市が脱炭素先行地域申請準備中。



▲8月5日に運転開始した武豊火力発電所
(出典：株式会社 JERA ホームページ)



想政会
新美 交陽

難病患者にも心身障害者福祉センターのデイサービスを

問 心身障害者の福祉の増進とは。

答 創作活動、社会適応訓練、日常生活訓練、デイサービス、社会見学、交流会等で心身のリフレッシュをする。

問 「障害者総合支援法」では難病患者も「障害者」と定義されているが。

答 市としても認識しているが障害者支援の制度によっては対象にならないものもある。

問 難病患者は何人いるのか。

答 370名いる。その内249名に月額5千円の見舞金を支給している。

問 障害者手帳を持っていない難病患者にもデイサービスが利用できるか。

答 障害者総合支援法で難病患者も障害者と定義されており、利用団体との意見交換を踏まえ12月からの利用を準備する。

通学路の安全は確保されているか

問 西端のけんしん前から小学校南門までグリーンベルトがあるが危険ではないか。

答 昨年、警察、市との合同点検を実施し、危険箇所の対策を協議してきた。県道であり知立建設事務所に改善要望している。

問 「生きる力をはぐくむ」安全教育はどんな内容か。

答 生活、交通、災害、犯罪等の安全、また自ら命を守ることについても指導している。



▲西端けんしん前の危険な通学路（県道）



真性クラブ
林田 要

行動経済学を応用した施策、事業の立案を問う

問 マイナンバーカードを市発行のタクシー券、図書館貸出受付、避難所の受付など多種多様な市民サービスに活用している自治体が増えてきている。碧南市でも同様の市民サービスの提供は可能か。

答 マイナンバーカードの仕様としては可能である。どのような活用方法が碧南市において有用か調査、研究する。

問 プレミアム付商品券発行事業は市民、市内事業者から好評であったときく。マイナンバーカードでの代替発行も可能か。

答 可能ではあるが、碧南市の人口規模、カードの発行枚数などを考えると、現時点では費用対効果が低いと考える。

問 電子地域通貨として用いて、市内経済の循環増進に活用している自治体の事例もあるが、碧南市でも実施できないか。

答 他自治体の電子地域通貨事業の成功事例を調査、研究する。

問 地域のごみ拾い活動で収集された枯葉などの可燃ごみの回収について、事前予約すれば市が回収することができないか。

答 現在は各団体がクリーンセンターに運搬してもらっているが、運搬方法が無いいためゴミ拾い活動ができないといった事例もある。今後、地域活性施策への影響など研究し、一定の基準を設けながら実施できるように検討する。



▲電子地域通貨の機能も搭載可能



みらいクラブ
鈴木 みのり

政教分離原則と市長の政治活動について

問 市長の考える、政教分離原則については。

答 特定の宗教を優遇・宣伝したり、逆に圧迫や差別をしたりしてはならないことだと理解している。

問 2021年12月5日に開催された大会の説明文については。

答 土日で公務が入っていない日の1日だけのイベントであり、個人の政治活動の中で対応が可能であると判断し、実行委員長の役を引き受けた。依頼を受けた当時、色々な情報を調べる中で、問題ないと判断した。

問 今年行われた式典・講演会については。

答 政治的団体、宗教的団体との関係については、個人の政治活動として自らの行動基準に沿って参加の可否等を判断している。相手のあることなので、市民に誤解や不安を与えるものを

除き、基本的に詳細は説明しない事になっている。

問 今後の市政運営と政治活動については。

答 市長の立場として、憲法で法の下の平等が保障されている中において、法の根柢なく軽々に、特定の個人、団体を断絶するとは言えないが、市民に誤解や不安を与えないよう、全ての団体の共同議長の役割は辞任した。今後も自己判断の行動基準に従い、適切な政治活動の対応に努める。



▲碧南市議会議場



みらいクラブ
小池 友妃子

市民とともにつくる災害に強いまちづくりについて

問 市民とともに実施した減災についての事例は。

答 出前講座17回521名に実施。徒歩帰宅支援マップ作成。ファーストミッションボックスを導入し、活用した避難所開設訓練。日進地区において防災委員会の設立支援。消防署にて5

歳児に地震体験等を実施した。
問 徒歩帰宅する人に飲料水やトイレ提供等の支援を行う支援ステーションの件数は。

答 主にコンビニ、ガソリンスタンド、飲食店等67件ある。

問 南海トラフ時の津波予測は。

答 最大震度7を予測。ハザードマップ上の浸水地域の方は、震災発生時にはすぐにでも高台等へ避難でき

る準備をしておいてほしい。

問 フェーズフリー（日常生活の中に非常時でも利用できるものを取り入れること）を公共施設に取り入れることができるか。

答 非常時に活用できる施設はないか、今一度整理し運用などを検討していく。また新たな建設や大規模改修をする場合は、可能な限りフェーズフリーの視点も取り入れていきたい。

問 フェーズフリーを学校教育に取り入れていくことについては。

答 教職員を対象とした防災研修後、安全計画の見直しとフェーズフリーの概念を取り入れた安全教育についての検討を進めていく。

災害時 碧南市徒歩帰宅支援マップ

大規模地震等で、交通機関が停止すると、多くの方が帰宅できなくなります。碧南市では、徒歩で帰宅する人を支援するため、飲料水やトイレの提供等の支援を行う徒歩帰宅支援ステーションを、お手持ちのスマートフォン（google map）で確認できるマップを作成しました。

マップは二次元コードを読み取ってください

碧南市 徒歩帰宅支援

二次元コードが読み取れない場合は、「碧南市」「徒歩帰宅支援」で検索してください。

帰宅支援ステーションでの支援内容

帰宅支援ステーションでは、次の内容を可能な範囲で支援します。

- ・飲料水（水道水）の提供
- ・トイレの使用
- ・ラジオ等から得られる災害情報の提供など

お問合せ 碧南市防災課防災計画係 0566-95-9874

▲徒歩帰宅支援ステーションマップチラシ



公明党
大竹 敦子

介護・保育の現場を支援する施策の充実について

問 各園で使用済み紙おむつを回収・処理をするべきでは。

答 民間保育園・こども園ではすでに実施されている。公立保育園は今年度より実施している。公立幼稚園も実施していく。社会福祉協議会の保育園も今年度中の実施に向け、検討している。

問 介護の現場の人手不足による職員の過重労働を軽くするため、県の補助金だけでなく、市でも介護ロボット導入支援事業を実施し、高額な介護ロボットの導入費用の負担を軽減しては。

答 碧海5市及び西尾市では実施されていない。県の補助金を周知し、その活用を促していく。

高齢者施策の充実について

問 高額な帯状疱疹ワクチンの接種費用の補助をしては。

答 現在、任意接種となっている帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成は考えていない。

問 今も横行している特殊詐欺被害から高齢者を守るため自動通話録音装置を無償貸与しては。

答 自動通話録音装置の購入費に対する補助制度を来年度に向けて準備している。

問 地域公共交通の課題を市はどのように捉えているのか。

答 移動手段を持たない交通弱者にとって公共交通は生命線ともいえる重要なものである。碧南市及び民間事業者にとっても持続可能な旅客サービスの確保が課題であると捉えている。



▲介護職員の負担を軽減する移動支援ロボット



志政会
磯貝 忠通

空き家等対策について

問 碧南市の空き家の数は。

答 令和4年3月31日現在で、建物所有者から回答のあった件数と見込みを加えた件数で、合わせて417件である。

問 空き家撤去に当たっての障害は。

答 本市の空き家は旧市街地に多く売却や利活用がしにくい。また相続問題の不調や経済的に撤去できない。さらには住宅用地の課税特例などの問題がある。

問 碧南市に所有者不明の土地や、課税できていない固定資産税・都市計画税はあるのか。

答 相続放棄や相続人がいないケースがあり、現時点で6件・10筆、521・42㎡ある。

大河ドラマ「どうする家康」と碧南市の観光と教育について

問 県の「どうする家康」観光推進協議会には、どのような情報を提供しているのか。

答 幼名「竹千代」を命名した称名寺や伊賀越えの上陸地とされている稲荷社、さらに家康の家臣「永井直勝」誕生の地の宝珠寺の情報を提供している。

問 小学校・中学校では、郷土の歴史教育について、どのような学習がなされているのか。

答 小学3・4年生では、授業で社会科副読本「わたしたちのへきなん」を使用している。また市教育委員会が作成した「藤井達吉物語」や「山中信天翁物語」等の書籍を各校の図書室に置き、常に貸し出ししている。



▶「どうする家康おみやげ推奨品」ロゴマーク
(出典：愛知県観光推進協議会ホームページ)

議会の窓

防災訓練を実施

▼とき

令和4年9月12日(月)

▼主な内容

碧南市総合防災訓練(大浜小学校にて8月28日開催)に合わせ、市議会としても有事に迅速に対応できるようにするため次のような訓練を実施しました。



▲議場でのシェイクアウト訓練



▲避難所に3人集まったら開けるファーストミッションボックス

(1) 安否確認訓練(碧南市総合防災訓練と同日に実施)

(2) 議場におけるシェイクアウト訓練

(3) 避難所開設の手順動画視聴(ファーストミッションボックス使用)

(4) 非常食(アルファ米およびクラッカー) 試食

今年の防災訓練は、本会議開催中に災害が起こることを想定して、議場で行いました。実際に議場で訓練してみても、気付くことも多くあり、新たな課題なども見つかりました。避難所開設手順は、大地震後に避難所に来た方が3人集まったらファーストミッションボックスを開けることなど、

説明動画を視聴しながら学習しました。

市議会インターネット中継に字幕が付きました

碧南市議会のインターネット中継が、令和4年6月議会より字幕付きで見られるようになりました。

会議終了後1週間程度で映像は視聴可能です。字幕は、会議終了後2〜3か月後に付く予定です。

インターネット中継は市議会ホームページよりご覧ください。



▲字幕がついた市議会インターネット中継

12月市議会定例会 12月8日(木)開会予定

12月市議会定例会の本会議第1日は、12月8日(木)午前10時に開会します。会期は12月23日(金)まで16日間を予定しています。

※会議日程は左記のとおり予定しておりますが、正式には議会運営委員会会で決定いたします。



12月定例会での一般質問の様子は、「碧南市議会ホームページ内のインターネット中継」又は、「キャッチネットワーク(地上デジタル112ch)」で下記の日時に視聴できます。

- 12月16日放映(12月8日分)
 - 12月20日放映(12月9日分)
 - 12月21日放映(12月12日分)
- いずれも午前10時から予定。

12月市議会定例会の予定

- 11月29日(火) 議会運営委員会
- 12月8日(木) 本会議第1日(一般質問)
- 9日(金) 本会議第2日(一般質問)
- 12日(月) 本会議第3日(一般質問)
- 13日(火) 本会議第4日(議案上程等)
予算審査特別委員会
- 14日(水) 総務文教委員会
総務文教分科会
- 15日(木) 福祉健康委員会
福祉健康分科会
- 16日(金) 経済建設委員会
経済建設分科会
- 21日(水) 予算審査特別委員会
議会運営委員会
- 23日(金) 本会議第5日

